

●特別会計 (単位: 万円)

区分	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険特別会計	176,780	66,023	37.3	68,829	38.9
公共下水道事業特別会計	81,999	17,965	21.9	34,389	41.9
介護保険特別会計	105,415	40,758	38.7	42,534	40.3
簡易水道事業特別会計	11,689	4,892	41.9	5,788	49.5
後期高齢者医療特別会計	16,010	4,436	27.7	4,380	27.4

●地方債の状況 (単位: 万円)

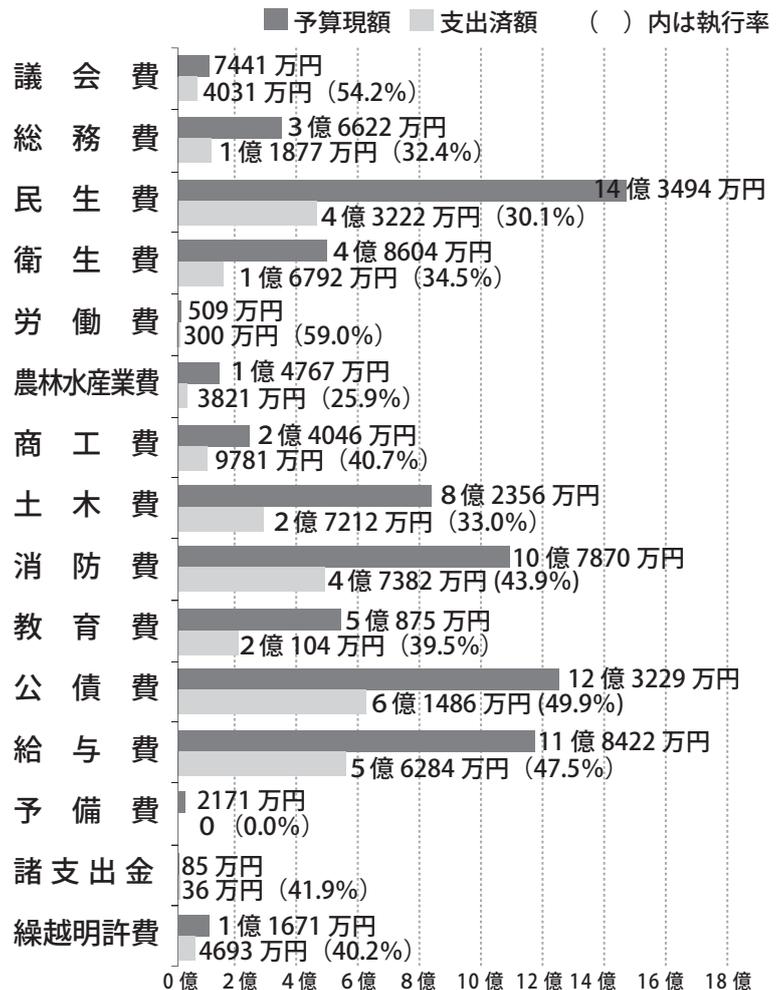
区分	当初残	償還額	現在高
一般会計	952,001	55,086	896,915
公共下水道事業特別会計	388,122	20,300	367,822
簡易水道事業特別会計	50,526	2,225	48,300
水道事業会計	80,264	2,299	77,964
合計	1,470,913	79,911	1,391,002

●水道事業会計 (単位: 万円)

区分	予算現額	執行済額	執行率	
収益的	収入	32,710	10,512	32.1
	支出	32,710	6,163	18.8
資本的	収入	13,640	0	0.0
	支出	18,276	7,300	39.9

予算現額 77億 2162万円
 支出済額 30億 7020万円
 執行率 39.8%

歳出



一時借入金は、経理資金が不足する際に一時的に銀行等から借り入れ、年度内に償還するお金です。

一時借入金・基金運用

後期高齢者医療特別会計
 予算現在額1億6010万4千円に対し、歳入27・7%、歳出27・4%の執行率となっています。この会計は、後期高齢者医療広域連合に対する納付金の支払いを主たる内容とするものです。

後期高齢者医療特別会計

簡易水道事業特別会計
 予算現在額1億1689万2千円に対し、歳入41・9%、歳出49・5%の執行率となっています。公債費(借金の支払い)が歳入を上回っており、この歳入不足を会計間の運用で賄っています。

簡易水道事業特別会計

歳出40・3%の執行率となっています。保険給付費が歳入を上回っており、この歳入不足を会計間の運用で賄っています。この会計は、要介護(要支援)への介護サービスの給付等を行っています。

会計間運用

近年は利子の軽減を図るため、銀行等よりも利息の低い基金(町の貯金)から一時的に借り入れを行っています。全ての会計の歳入歳出に係る現金のことを歳計現金といい、地方公共団体は、この歳計現金の中でやりくりをしながら支払いをします。したがって、年度内で、ある会計に現金が不足した場合は、現金のある会計からない会計に運用し支払いをします。このことを会計間運用といいます。

地方債

地方債は、投資的事業(道路の整備、建物の建築等)に充てるために借り入れ、年度を越えて償還するものです。

